

KISC

公益財団法人 かごしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center

創業や研究開発に
取り組むあなたを応援します



小城製粉株式会社
代表取締役 小城 年久さん

夏号
2013

今号の表紙



米粉パン専用粉

小城製粉株式会社

代表取締役 こじょう としひさ
小城 年久

<企業概要>

所在地 薩摩川内市隈之城町1892
設立 昭和22年3月
従業員数 43名
TEL 0996-22-4161
FAX 0996-20-3973
E-mail kojoso@mocha.ocn.ne.jp

今号の表紙は、小麦アレルギーの原因にもなるグルテンを全く使わないパンや和・洋菓子などの生地、米粉100%を開発・商品化された小城製粉株式会社代表取締役の小城年久さんです。

○決断：経営戦略を米粉100%に！

小麦アレルギーの方でも安心して食べられるパン、和・洋菓子を提供したいとの強い思いから、社をあげて2年がかりで研究・開発のうえ、平成22年5月に、おいしくて、ふっくらした米粉100%のパンを完成させました。

この成果を受けて、平成23年3月、当社製粉部は小麦粉使用なしの米粉100%製造に切替えました。

○最近のトピックス

本年3月中旬に、かごしま産業支援センターのマーケティング等支援事業を活用し、米国のナチュラル・プロダクツ・エキスポ・ウエスト（ロスアンゼルス：世界的規模の自然食品展示会）に米粉100%パン、ケーキを出展。この出展を通して、ノングルテンの生活があることを改めて理解。可能性が広がり、技術を深めることにより、世界中が求めていることに貢献できる可能性がある」と強く認識。

「間口が狭くて、奥行きのある経営をせよ」（30数年前、当時の京セラ稲盛社長）との言葉を今更ながら実感している（小城代表取締役）。

○事業展開のコンセプト

ノングルテンで、しかも「おいしい」米粉の商品開発と販売。「おいしい」がないと市場性はない。そこが当社の基本的なコンセプト。



工場隣接の菓子工房「のせ菓楽」

○今後の事業展開など

米粉商品の更なるラインアップを図りながら、今後、地元大学の協力を得て、当社ノングルテン商品の各種疾病予防の科学的効果、例えば県内の小麦アレルギー患者の方々での治験などにも取り組みたいと考えている、とのこと。

*当社の商品開発等の取組が評価され、昨年11月、鹿児島相互信用金庫の「第1回そうしんビジネス・イノベーション大賞」を受賞。

*かごしま産業支援センターの地域資源活用支援事業を活用し、「さつま雅（ゴボウ）の蜜漬け」を開発（平成24年度）

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 特集 平成25年度研究開発助成金等の助成先が決定しました
- 8 取引振興コーナー
- 11 特集 更なる経営改善に「専門家派遣事業」の活用を！
- 12 ベンチャープラザコーナー
- 14 IT情報コーナー
- 16 わが社の輝く女性！ 交和電気産業(株) 竹中順子さん
- 17 がんばる進出企業 ネクサスプレジジョン(株)
- 18 Information インキュベーター入居者の募集
- 19 Information 鹿児島大学水産学部でラボツアーを開催します！
- 20 公益財団法人 かごしま産業支援センターアクセス

私の 思い



鹿児島県経営者協会

会長 ほんぼう おさむ
本坊 修

昭和42年3月 慶応義塾大学法学部卒

昭和43年4月 本坊酒造株式会社 入社

平成15年11月 代表取締役社長（現在）

平成25年4月 鹿児島県経営者協会 会長

地域の発展と活力ある企業経営をめざして

鹿児島県経営者協会は、昭和22年に設立され現在207社の企業が入会され活動を行なっています。

その間、企業経営の安定と人材の育成を基本理念とし、各企業が経済活動を通して地域社会の発展に貢献する事を目的に活動を行なってきました。

それぞれの地域に各種の経済団体がありますが、特に経営者協会は労使関係の健全な安定確立を維持することが大きな使命であると認識しています。

鹿児島県発展の課題

鹿児島県は2011年3月12日、念願の新幹線が全線開通し、大きな経済効果をもたらしてくれました。そして2年少々経過した今日でも、特に観光面において効果が大きくあります。この効果を持続していくためには交通の充実が必要であります。

霧島・指宿・大隅・北薩へのスムーズな移動は、鉄道・定期バスの充実と共に幹線道路の充実があげられます。

特に大型商業店舗の進出が著しい東開地区の道路の整備が喫緊の課題と思われまます。

それと、鹿児島県は全国的にも上位に位置している農業・畜産・漁業・林業を軸とした6次産業化による新規事業の創出と、地産地消の推進が重要であると考えます。

そして、鹿児島ならではの安心・安全を伴った食料供給システムと観光産業分野の充実を図っていくことが最大の課題と考えます。

本年4月、会長に就任して

今期4月から、永山前会長の後任として会長職を仰せつかり、とまどっています。

と申しますのも、今年の秋頃の予定で四国八十八ヶ所巡りの計画を立て準備をしていたのです。

お遍路の行程は、順調に間違いなく歩いて約1200kmあるそうです。体力に合わせて行程を組み、宿を前日に予約しながら到着したら、先ず、洗濯と足の手入れをしなければならないそうです。

70才前迄に挑戦しようと決めていたのですが無理なようです。

これからは現在の体力を維持し、退任時に晴れて挑みたいと思い、引き受けたからには会長職を全うしたいと考えています。



平成25年度 公益財団法人 かがしま産業支援センター

- ・ 研究開発助成金
- ・ かがしま産業おこし挑戦助成金

⇒ **助成先が決定しました！**

25件 助成金総額は 6,451万7千円

研究開発助成金

県内中小企業の「ものづくり技術」の高度化、新製品開発能力の向上などにつながる研究開発に対して、研究経費の一部を助成するものです。（本年度の募集は4月1日から5月10日まで行いました。）

かがしま産業おこし挑戦助成金

自動車・電子・食品・成長産業関連の戦略的産業振興分野及び地域資源活用・農商工等連携分野、新事業開拓分野に係る中小企業の新事業創出の取組みを助成するものです。

（本年度の募集は4月1日から5月10日まで行いました。）



平成25年度新規助成決定企業のみなさん

【研究開発助成金】

○新事業研究開発事業（3件 助成金総額 6,000千円）

新技術、新製品等の開発など技術高度化を目指す中小企業者に対し、研究開発や試作品開発等に要する経費の一部を助成。

企業名	テーマ	助成予定額 (千円)
ひおき発電研究会 (日置市)	農山村地域に活用可能なクロスフロー型水車に蓄電機能を付加したマイクロ水力発電装置の開発	2,000
	低流量・低落差においても、低損失・高効率で低コストなマイクロ水力発電システムを研究開発する。クロスフロー型水車とアウトロータ型発電機（汎用品）を組み合わせ、系統連携可能なマイクロ水力発電用パワコンを開発することにより、全国に無数に存在する数キロワットの小水力ポテンシャル地点に低コストでの導入を可能にする。	
(有)井上金網製作所 (阿久根市)	二輪車盗難防止装置の開発	2,000
	従来、二輪車ユーザーは出先などで駐車（輪）する時、重たくかさばる盗難防止チェーンを携帯する必要があった。本事業ではそのわずらわしさを解消するため、軽量でコンパクト・施錠する場所を選ばない盗難防止装置を開発する。	
(有)富ヶ原組 (日置市)	ブッシュチョッパー粉砕物の有効利用	2,000
	草木伐採回収装置であるブッシュチョッパーで粉砕されていた竹や雑木、雑草の粉砕物を有用な資源として蘇らせることを主目的とする。粉砕物を鹿児島大学のM研究室で特許化した光合成細菌などで発酵させ、肥料や飼料に活用するための研究を行う。産業廃棄物として燃焼処分しないことから地球温暖化対策にもなる。	

○重点業種研究開発支援事業（4件 助成金総額 11,428千円）

自動車、電子、新成長分野関連産業（環境・エネルギー産業、健康・医療産業、バイオ関連産業）に係る新技術や新製品の研究開発を行う中小企業者に対し、その経費の一部を助成。

企業名	テーマ	助成予定額 (千円)
株秦野精密 (薩摩郡さつま町)	革新的歩留まり改善を目的としたトランスファー冷間鍛造による自動車用機構部品の開発	3,276
	弊社が得意とするFB加工は、長尺の帯板を素材とした成形機構ゆえ、材料の3～9割を廃却しており、顧客からの原価低減要求に対応しづらくなっている。本研究では、新興国との価格競争に打ち勝つため、革新的な材料歩留まり改善を目的とし、パーツ素材によるトランスファー冷間鍛造技術を確立し、コスト50%の削減を目指す。	
株スマートエンジニアリング (鹿屋市)	防災対応した基幹放送二重化を担う低コスト/低電力/高音質・無線コーデック機の開発	2,247
	放送用の無線型コーデック機（音声の送受信）の研究を行う。放送室とFM電波送信所は、専用線（メタル/光）で繋がれてはいるが、二重化されていないFM局が多数ある。災害時において安定した放送を継続できるように、新たな手段として無線化を実現し、低価格かつ高音質を実現するためのコーデック機を開発する。	
株エルム (南さつま市)	安納芋の糖度測定装置の開発	3,029
	生の状態で安納芋の糖度を測ることにより、蒸した安納芋の糖度が推定される装置を開発する。この開発によって、現在、手作業で行っている抜き取り検査による糖度測定における機械化が図られ、検査数の増加及びコスト削減等の効果が期待される。	
株サンライズ精工 (霧島市)	光通信用シールリングの低コスト高効率成形技術の開発	2,876
	当社の主力製品である光通信モジュールに使用されるコパール製シールリングにも国際的コスト競争の波が押し寄せ、また、市場規模の増大により生産の効率化も求められており、厳しい競争を勝ち抜くには、現状工程から工法転換し、コスト的にも時間的にも優位性を確保できる革新的な成形技術を確立することを目標とする。	

○新分野参入研究開発助成事業（1件 助成金額 3,800千円）

企業の撤退及び規模縮小等により経営に影響を受けた県内中小企業者が、新たな分野への参入等を図るための新製品・新技術の開発研究の経費の一部を助成。

企業名	テーマ	助成予定額 (千円)
加世田電子工業(株) (南さつま市)	航空機用内装部品の製造開発	3,800
	当社はチップLED組立、製造等を主に事業を行ってる。しかし、企業の撤退によりかなりの影響を受けたため、会社存続のためにも新規分野を開拓する必要がある。そこで、航空機の内装部品の製造開発を目指して、1. 蛍光灯、音響、電熱器、スイッチなど電気配線に関する部品の製造、2. トイレのドアや座席まわり、物入れなどに関する機構品の製造技術を確立する。	

【かごしま産業おこし挑戦助成金】

○中核的企業創出プログラム事業（5件 助成金総額 14,388千円）

自動車、電子、食品、成長産業（環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連産業）関連の中小企業者が実施する経営計画作成とその実施に要する経費の一部を助成。

企業名	テーマ	助成予定額 (千円)
株アーダン (奄美市)	シルクを主原料とした医薬部外品の製造とブランド構築による販売体制の確立 医薬部外品という新規事業分野において、これまで培った「シルクを溶解し化粧品原料として安定させてきた技術力」をさらに向上させ、薬用化粧品、その他医薬部外品の新商品を開発し、新たな受注拡大や販路開拓を図る。さらに、原料となる絹を奄美大島において生産することにより、地域経済に対しての波及効果を目指す。	3,500
有K・アクセス (鹿児島市)	キャンピングカーという概念に捕われず、旅をする事・移動する事務所等、エンドユーザーのニーズに合わせたコンセプトカーの製造販売 鹿児島県では弊社にしか出来ない車内の架装を施す技術をより強化し、生産効率の向上を目指す。平成25年9月には鹿児島市東開町に新社屋をオープンさせ、技術力の強化及び生産能力の安定化を図る。	2,000
株ジーピーフーズ (薩摩川内市)	さつまいもに特化したスイーツの新商品開発と自社ブランドによる直販など新たな販売チャネルの確立 付加価値の高いさつまいもスイーツの新商品を開発し、自社ブランドで消費者に直接販売する体制（チャネル）を整備することにより、消費者から高い信頼と評価を得るとともに、食品メーカーとして、さつまいもの生産・消費拡大や雇用の増加を図ることを目指す。	3,979
藤安醸造株 (鹿児島市)	「黒さつま鶏」などの鹿児島県産地鶏を活用した新商品開発と販路開拓 ガラエキスを使った新商品の開発・販売を行い、「黒さつま鶏」のブランド向上への貢献、消費拡大を図り、食品メーカーとして地域を牽引する中核企業になることを目指す。	2,334
交和電気産業株 (出水市)	大型LEDアレイモジュールを搭載したLED照明の開発、製造、販売 大型LEDアレイモジュールを搭載したLED照明の軽量化、コストダウンを図るとともに新商品開発を進めていき、販路拡大と顧客に対するサービスの向上を実現する。	2,575

○地域資源活用起業家支援事業（3件 助成金総額 7,485千円）

地域資源を活用し起業化を目指す個人や中小企業者が、創業や新事業の創出に向けて実施する研究開発、試作品開発、販路開拓等に係る経費の一部を助成。

企業名	テーマ	助成予定額 (千円)
株美ごしか (始良市)	米丸温泉と火山灰白土を成分とした真に地肌に優しいヘアケア商品の企画・販売 創業者自身が郷里の地域資源に助けられた“感動”を、開発する商品へ込めて、これまでの職業経験から得た営業力とインターネットマーケティングの知識を活かして全国へ鹿児島の魅力を広める。	3,000
有環境システム (鹿屋市)	地域資源を活用した着地型旅行の企画実施 大隅地域の資源を活用した商品やサービスをめぐる旅行商品の開発に特化し、旅行者には「大隅の“本物”と“感動”」を、生産者や製造者には旅行を通して広告PRの機会を提供し販路拡大を促進する「大隅ニューツーリズム創造事業」を行う。	1,485
霧島燻製ファクトリー (霧島市)	地域畜産活用 新工法「食肉燻製加工・販売」 黒豚食材を独自の霧島温泉水蒸気低温殺菌による食肉燻製工法により、素材自身の食肉の旨味を最大限に引き出して、温泉水蒸気をたっぷり吸収させた燻製を作る。	3,000

○地域資源活用・農商工等連携新事業創出支援事業（9件 助成金総額 21,416千円）

地域資源を活用し事業化を目指す中小企業者、若しくは農商工連携の促進に資する取組における研究開発、試作品開発、販路開拓等に係る経費の一部を助成。

企業名	テーマ	助成予定額 (千円)
(有)エコテック (薩摩郡さつま町)	鹿児島特産のハウスきんかんを使ったセミドライフルーツの製品化 きんかんを直接乾燥すると苦みが残るため、一般的にはシロップ漬けてから乾燥しているが、この製法ではシロップの甘さがきんかんの甘酸っぱさを打ち消してしまう。そこで、きんかん本来の味を残す製法を開発する。	3,000
佐野製糖 (大島郡喜界町)	黒糖と潤命草（学術名：ボタンボウフウ）コラボによる健康に良い新商品開発及び販路開拓 喜界町において推進している潤命草は無農薬及び有機にて栽培され、活性酸素を抑制するポリフェノールの含有率も高い。今回、この潤命草を黒糖とコラボさせることで健康志向の現代社会に受け入れられる新商品を開発し、地域社会の雇用安定にも寄与する。	2,500
(有)エール (指宿市)	鹿児島県産 竹炭を活用した高機能性ネットの開発 洗顔用泡立てネットは、使用後の保管において、衛生面が課題となっている。そこで地域資源の竹炭を練り込み、抗菌・消臭性を高めたネットを開発し、近年拡大傾向である男性向け美容商材の市場獲得を目指す。	2,994
上原産業(有) (南九州市)	澱粉粕と鶏糞による連続発酵肥料化の研究 澱粉製造時に排出される粕および廃液が弱酸性のため、単独発酵が難しかったが、アルカリ性のアンモニアが多量に含まれる鶏糞と中和混合し、土着菌を使って発酵すると良質の肥料になることを証明する研究を行う。	3,000
(合)フジカンパニー (大島郡与論町)	奄美地方の生姜と黒糖及び鹿児島産の野菜・果物を使用したシロップの開発 生姜は漢方薬の約9割に含まれ、発汗・解熱効果・抗うつ作用・抗菌作用等多くの効果があると言われている。弊社商品にも使用している与論産生姜を更に効果的に摂取でき、且つ飲み易い生姜商品を開発する。	2,765
(株)オーケー社 鹿児島 (鹿児島市)	シラス断熱材を利用したバイオマスボイラーの開発と実用化 環境に優しく保温性の高いシラス（軽石）を使った断熱材の製造技術を確立し、環境にやさしく、県産材を使用したボイラーの開発を試みる。	3,000
新洋水産(有) (いちき串木野市)	マグロ血合いの活用方法と製品化 貴重な海洋資源でありながら、食料としては臭い・食感の悪さから、ほとんど利用されていないマグロの血合いをすり身に加工する技術を確立し、さらにこのすり身を材料とする練り製品を開発、新商品として販売する。	1,112
福山黒酢(株) (霧島市)	黒酢の風味改良技術の開発 ムレ香の成分であるジアセチルをなくすために、乳酸をジアセチルに変換できない酢酸菌を育種することで、ジアセチルを生成しない酢酸菌を開発する。その結果、ムレ香のない黒酢が開発できるとともに、乳酸が酢酸菌により変換されず、そのまま黒酢に残るため、乳酸を多く含んだ黒酢の開発が期待される。	1,332
くるくま草 (南九州市)	こしき海洋深層水塩と乾燥粉末米麴を使ったドライ塩麴の開発と応用。販路拡大 米麴を乾燥粉末化し、こしき海洋深層水塩と混合することにより、従来の塩麴の不便を解決するドライ塩麴を開発、応用し、調味料としての確実な定着を図る。	1,713



取引振興コーナー



開催案内

● 「平成25年度 かがしま取引商談会」開催の御案内

鹿児島県内外の発注企業と県内受注企業が一堂に会し、取引および技術に関する情報交換を行うビジネスチャンス場として、「かがしま取引商談会」を下記のとおり開催します。

商談会の詳細及び参加申込みについては、当センターのホームページに随時掲載いたしますので、新規取引先の開拓、情報収集の場として御活用ください。

- 期 日 平成25年10月22日（火）～ 23日（水）
- 場 所 ホテルウェルビューかごしま（鹿児島市）
- 主 催 ビジネスマッチング協議会
公益財団法人かごしま産業支援センター

○内容等

- ・対象企業 製造業（一般機械、金属、電気、電子関連企業等）
- ・参加企業数（予定） 発注企業 30社程度
受注企業 県内企業60社程度



面談会風景（昨年度）

- (1) 個別面談会（22日） 指定面談方式（事前に面談組み合わせを指定）で実施
- (2) 交流懇談会（面談会終了後） 名刺交換、交流会
- (3) 発注企業による県内受注企業訪問（23日）

◆お問い合わせ先

（公財）かごしま産業支援センター
取引振興課

TEL：099-219-1274

FAX：099-219-1279

URL：http://www.kric.or.jp

◆発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介・あっせんを行っております。あっせんの御希望がありましたら御連絡ください。

*九州合同発注開拓調査（1回目）で発注申し込みがあった一部を掲載しました。

なお、お手元に届くまでにあっせん済みになっている場合もありますので、御了承願います。

No.	所在地	発注品目	数量	加工内容	発注条件	
					必要設備	材料
1	東京都	配電盤関連加工 (将来的)	協議	配電盤製作	同左加工設備一式	鋼材 SUS
2	大阪府	レベルセンサ・レ ベルスイッチ部品 (将来的)	協議	金属切削加工 樹脂切削加工 樹脂成型 基盤実装	同左加工設備一式	SUS304、316、316L チタン、ハステロイ PVC、CPJ C ABS、PP、テフロン
3	兵庫県	工作機械部品 (都度)	少量 多品種	生産設備機械の部品加 工全般 溶接後の機械加工等 その都度協議	縦型マシニングセンター NC横中繰り盤 ターニングセンター	SS、S45C、 SCM440、SUS304
4	山口県	食品加工機械部品 (随時)	協議	製缶、板金 機械加工 樹脂加工 装置設計製作	TIG溶接、パフ研磨 レーザー加工機 NC旋盤、MC 中ぐり盤	案件による

◆お問い合わせ先

（公財）かごしま産業支援センター 取引振興課

TEL：099-219-1274

FAX：099-219-1279

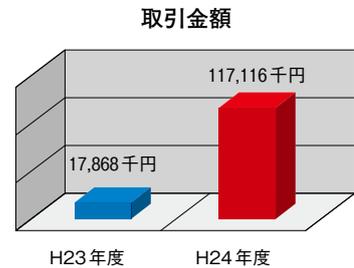
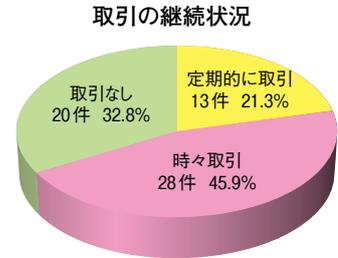
平成23年度取引成立案件 ⇒ 1年後フォロー調査結果

【1年後も約7割が取引継続、取引金額は当初の約7倍に拡大！】

当センターでは、平成23年度に266件の「取引の紹介・あっせん」を行い、67件、金額で19,118千円の取引が成立しました。

このうち、県内企業の受注は61件、金額17,868千円となっており、これについて1年後の、フォロー調査を実施した結果、取引の継続41件（約7割）、取引金額117,116千円（約7倍）となっていました。

調査結果



このように、当センターの取引の紹介・あっせん事業は、新規開拓や受注の拡大に貢献しています。

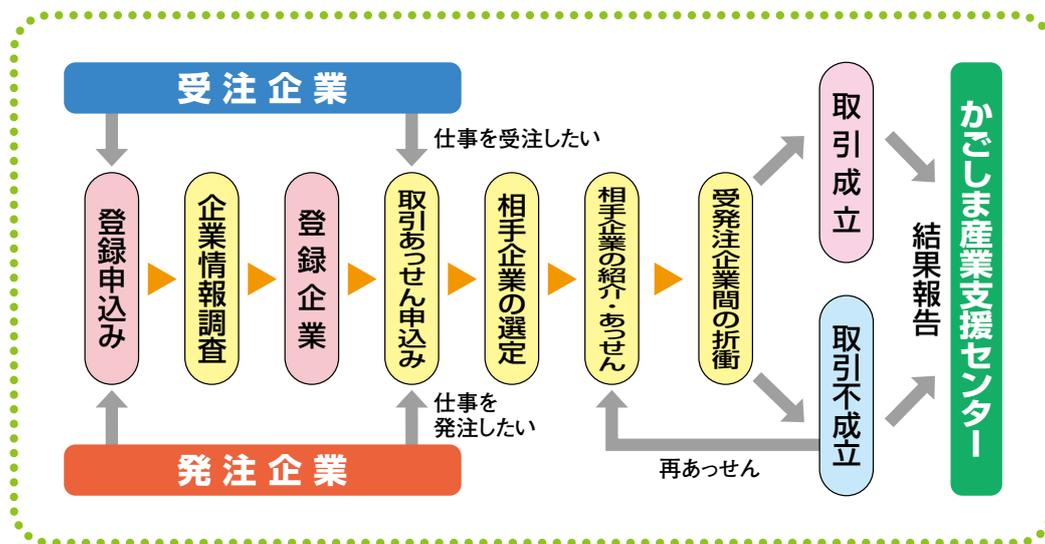
今後とも、県内中小企業の受注機会の拡大につながるよう、効果的かつ継続的な「取引の紹介・あっせん」に努めてまいります。

【ご案内】

取引の紹介・あっせん希望企業 ⇒ 当センターに登録を！

仕事を「発注したい・受注したい」企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介・あっせんを行います。また、各都道府県支援機関との連携による広域的なあっせんも行います。

◆取引・あっせんのしくみ◆



各企業の希望に応じた紹介・あっせんを円滑に行うために、当センターへの登録手続きをお願いします。なお、センター登録、取引のあっせんは、すべて無料です。

●第17回機械要素技術展に出展しました。 (製造業緊急新規取引先開拓支援事業)

当センターでは、国内大手企業の生産拠点再編や規模縮小などによる県内中小企業への取引減少等の影響に対応するため、県外で開催される展示会に鹿児島県ブースを確保し、出展を希望する県内中小企業に提供し販路開拓支援を行っております。今回は、東京で行われた展示会に参加し、鹿児島県内の製造業のPRおよび情報収集を行いました。

会場では活発な商談が交わされるとともに、県内企業13社の技術力を広くPR、有益な情報収集の場となりました。



開催日：平成25年6月19日(水)
～6月21日(金)
場所：東京ビックサイト
(東京都江東区有明3-11-1)
主催者：リードエグジビジョンジャパン(株)
出展状況：1,930社(県内企業13社)

かごしま産業支援センター
出展企業(13社)

- ・鹿児島ケース(株)
- ・キリシマ精工(株)
- ・株サツマ超硬精密
- ・株三翔精工
- ・株サンライズ精工
- ・株ステップ
- ・株東郷
- ・東洋ツール工業(株)
- ・株中川製作所
- ・株秦野精密
- ・株藤田ワークス
- ・有ヤナセ精機
- ・八幡金属(株)

◎次回開催のお知らせ

今回は10月に大阪で開催される第16回機械要素技術展に出展します。県内中小企業の販路拡大を目的にブースを設け、製品・加工サンプル等を展示、新たなビジネスチャンスの場を提供します。

期日：平成25年10月2日(水)～4日(金)

会場：インテックス大阪

出展企業：当センターブース内に12社程度の県内製造業の製品・加工サンプル等を出展

●平成25年度第1回ミニ商談会を開催しました。

第1回ミニ商談会を7月～8月に実施しました。この商談会では、発注の可能性がある県内外企業7社に、ニーズに適合すると思われる県内企業を指定してもらい、当センター職員案内のもと工場を直接訪問し現場面談を行いました。

期間：平成25年7月2日(火)～8月8日(木)

参加企業：発注企業 7社(うち県外5社) 企業訪問数：県内受注企業 延べ35社

●「ものづくり企業連携セミナー」を開催しました。

中小企業の業績維持、向上を図り、単独での企業の枠組みを超えた企業連携による取組みを進めるため、鹿児島県と当センターの主催により「ものづくり企業連携セミナー」を開催しました。

開催日：平成25年7月9日(火)

場所：ホテルウェルビューかごしま

参加企業：鹿児島県内中小製造業 約50社



講演1 「成功させる共同受注・企業連携とは」

講師：(株)ロダン21 代表取締役 品川隆幸 氏

製品のPRに悩む中小企業が、仲間にインターネット用のコマースサイトを制作してもらって流したところ、業績が上がったという成功例を挙げ、企業が連携することの大切さについて話をされた。

講演2 「地域結束力 南国からの逆襲」

講師：京都試作センター(株) 試作開発部長 村田敏治 氏

失敗例に学ぶ。企業間に信用がなければ結束力は生まれない。この信用も簡単に失われることがあるなど、企業連携の必要性とその難しさについて話をされた。



更なる経営改善に「専門家派遣事業」の活用を！

当センターでは、県内中小企業の経営や生産システム、技術、情報化等の様々な課題に対し、その内容に応じた民間の専門家を派遣し、課題解決に向けたアドバイスをを行う専門家派遣事業を実施しています。

※ 派遣に要した費用（謝金、旅費）の3分の2を助成するものです。一企業当たり、年間最大10回程度までの派遣費用を助成します。

専門家派遣のテーマ例

- ◎新たな生産管理手法の導入による納期短縮やコストダウンの実現
 - 例：品質の安定・向上、無駄排除や段取替え改善、不良低減活動等による工場の生産性向上、社内体制・仕組みの見直しなど
- ◎新製品開発に向けた技術開発及び販路開拓など
 - 例：地元産材活用の新商品開発、販売促進活動の見直しによる売上・利益率向上など
- ◎ITシステムの導入によるリアルタイムな経営状況の把握



派遣する専門家とは？

当センターには
216名の民間専門家が登録されています。
(平成25年6月末)

工業 (生産システム改善を含む)	43名
商業	25名
情報	27名
法務	3名
マーケティング	23名
財務会計	29名
その他	66名

内容に応じて最適な専門家を派遣します。



派遣までの流れ

まずは、当センター「総合相談室」にご相談ください。その後は、

- 1 事前マッチング（当センター立ち会い）
 - ・派遣前に専門家との意見交換会実施
(企業の現状・課題の把握、企業と専門家との相性確認、取組テーマ設定など)
- 2 派遣申請（企業→当センター）
- 3 計画の確認、派遣決定
- 4 専門家の企業派遣・企業取組
- 5 派遣終了・実績確認

☆☆派遣に要した費用（謝金、旅費）の3分の2を当センターが助成します。

☆最近の派遣事例☆

事例1 品質の安定・向上（水産練製品製造業）

- ・派遣回数 10回 ・助成額：338千円

成果：・県内への大手コンビニ進出、新幹線効果による観光客流入など受注環境の変化に対応するため、「品質の安定・向上を目的とした社内体制・仕組みの構築」について専門家から指導を受けた。

- ・その結果、当社における品質管理体制の不備が明確となり、人員配置及び組織体制の見直しや品質管理文書の体系化に向けての道筋がついた。
- ・また、現在の検査方法の問題点を抽出し改善を行うことで、検査データに基づく原因分析が可能となり、その対策を講じることで不良率の低減が見込まれる。

事例2 販路開拓（食酢製造業）

- ・派遣回数 10回 ・助成額：388千円

成果：・特徴のある製品を製造販売しているが、特に北部九州における販路拡大策について専門家から助言を受けた。

- ・専門家から、大手百貨店に入居している料理教室でのプロモーション活動、福岡のTV局・新規販路開拓先の紹介など、販路拡大につながる実践的な支援が成され、今後の販路開拓のきっかけとなった。

ベンチャープラザコーナー

第57回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

平成25年5月14日(水)鹿児島市において開催し、県内の2社と県外1社にビジネスプランを発表していただきました。(これまでの発表企業累計187社、うち県内企業137社となりました。)

多様化する情報社会のニーズにあったマンガ、アニメを広告・広報の分野に取り入れ、新しい販売手法を展開する「マンガプロジェクト鹿児島」(発表目的:販路拡大)と、全国有数の生産高を誇る鹿児島の養殖魚の未利用部位である内臓を有効活用した商品の販路拡大を図る「株YSフーズ」(発表目的:販路拡大)の発表に、128名の参加者も熱心に耳を傾けていました。

○発表その1 「マンガを活用した販促ツールで企業支援」

(マンガプロジェクト鹿児島)

マンガプロジェクト鹿児島

会長 四元 重美
鹿児島市下伊敷1丁目39-24
シティハイツK 1階
TEL: 070-5276-8782
FAX: 099-228-5435
E-mail: info@kagoshima-manga.com
URL: http://www.kagoshima-manga.com/



発表する四元会長

に知ってもらうこと」です。しかし、現状は売り手の一方通行的な情報が多く、その良さがお客様に伝わっていません。その点、マンガは双方向のツールでお客様視点のメディアだと言えます。ストーリー性に富んだマンガを活用することで、より分かり易く強い印象をお客様に与えることが可能です。

活用例として、「商品紹介」「取扱説明書」「各種マニュアル」「商品の開発物語」「経営者の自伝」などがあり、テレビ・新聞・チラシ等の広告やホームページ・パンフレット・広報誌、また、フェイスブックなどのSNSでの展開が考えられます。

発表内容

《会の紹介》

広告・広報業界で20年以上のキャリアを持つ同業者4人が2010年3月にマンガプロジェクト鹿児島を結成。(現在、理事4名を含め会員35名)

事業内容として、マンガを使った販促ツールの制作や広告・広報コンサルティングを通じて様々な企業や団体のブランド化支援を行っています。

《マンガツール開発のきっかけ》

鹿児島は農水産物をはじめ、資源の宝庫でありながら、ネームバリューが弱いといわれる。その一因として、技術偏重の考えが色濃く残るとともに、情報発信力の弱さがあると考え、「おもしろい、わかりやすい、かんたん」といった特徴のあるマンガを使えば伝わりやすいのではないかと考えスタートした事業です。



《商品の特徴と活用事例など》

物が売れるうえで最も大切なことは「まずお客様



マンガプロジェクト鹿児島作成パンフレット等

当会は、およそ20人の漫画家が所属し、あらゆる業界・ジャンルへの対応が可能であり、また、「どうやったらメディアに報道してもらえるか」といったパブリシティの展開など、多様な広告・販促に関する相談も可能です。

発表後の成果・感想

建設関連ソフト開発会社による小冊子の発注や鹿児島弁保存の会とのタイアップ、地方の商店街キャラクターの開発、あるいは他団体との協働事業など着々とその活動の幅が広がりつつあります。

今後の展望

今後はマンガだけでなく、アニメーションの制作や、ゆるキャラ、萌えキャラを活用した商品開発、販促イベントなど、企業、行政のブランド化に向けた支援を積極的に行っていきたいと考えております。

○発表その2 **「鹿児島県養殖魚の内臓を有効活用したホルモン等の商品開発と販路拡大」**
(株式会社 YSフーズ)

株式会社YSフーズ
代表取締役 山口 雅也
鹿児島市松原町12-22
TEL : 099-223-7447
FAX : 099-223-7448
E-mail : yamasui-daigo@
po.minc.ne.jp
URL : http://ys-foods.
com/



発表する山口大悟
企画開発室長

《現在の販売状況と課題》

県内の百貨店、特産品売り場などで販売しているほか、ホテル等で会席の前菜などにも利用されています。

現在の商品は、真空パックでのボイル商品として販売していますが、常温商品への顧客ニーズがあるので、専門家の指導を得ながら商品化を進めています。

発表後の成果・感想

発表を契機に、いろいろな方から商品に関するアドバイスをいただきました。その中で、新たな形態での商品化を御提案いただき、現在商品化に向けて研究・開発中です。



本鮪ほもん：水産庁のファストフィッシュ認定商品

発表内容

《企業紹介》

株式会社山口水産（水産物卸売業）の加工販売部門として平成22年8月に設立。

本県産の魚を使った水産物加工、販売を手掛けており、平成24年6月には屋久島工場を設置、十島村では地元協力工場を活用した商品づくりと地域活性化にも取り組んでいます。

《魚（本鮪）ホルモン：商品開発のきっかけ》

本県は本鮪（マグロ）出荷量で全国一位を誇る水産県であるが、その内臓は食用として全く利用されていない。安定的に大量に入手できる本鮪の内臓を、牛・豚のホルモンと同様に有効活用できないか。との思いが商品開発に踏み切ったきっかけです。

《商品の特徴》

既に商品化している本鮪の胃袋ホルモンは、牛・豚のホルモンと同様のタレ漬け商品です。

この本鮪ホルモン（辛味噌）は水産庁のファストフィッシュ（お手軽、気軽商品）に本県で初めて認定されました。（平成24年9月）

栄養成分の分析では、高タンパク・低脂質で塩分控えめ、特にコラーゲンはフカヒレ同等の含有量で、健康食品でもあります。



株式会社YSフーズ（株式会社山口水産社屋内）

今後の展望

百貨店での物産展、ネット販売、物産館等への販路拡大や外食産業、量販店への販売により、魚ホルモンの認知度を高め、長期間販売される商品を目指したいと思っています。

さらに、ブリ、カンパチの未利用部位を使った魚ホルモン商品も魅力的な素材と考えています。

まずは、鹿児島で魚ホルモンを広げていきましょう！

お知らせコーナー

- 今後の「二水会」開催予定
- 第59回：平成25年11月13日（水）15:00～
- 第60回：平成26年2月12日（水）15:00～
- （場所はいずれも鹿児島市内）
- ※詳細が決定次第、かごしま産業支援センターのホームページ、メールマガジン等でご案内します。

IT情報コーナー

このパソコン、いつまで使えるの？

NPO法人 ITかごしま支援隊

ITコーディネータ 上ノ町 台 作

通常、パソコンの耐用年数（いわゆる「寿命」）は、5年から6年程度とされています。

しかし、そのパソコンに Windows XP（以下、XP）が入っている場合は、耐用年数とは別の理由で、あと1年足らずで使えなくなる場合があります。

Windowsには、それぞれのバージョンにサポート期間が定められており、XPは2014年4月9日がその期限となります。この期限が来るまでに、新しいOS（Windows 7やWindows 8）にアップグレードするか、パソコンを乗り換えるようにしましょう。

●アップグレードや乗り換えを実行しない場合、どのような問題があるのか？

①セキュリティ上の問題

一番の問題が、更新プログラムの提供が、2014年4月9日をもって打ち切られることです。更新プログラムが配布されなくなると、新しい問題が見つかって何ら対策は講じられません。

この「更新プログラム」とは、XPなどのソフトウェアの構造上の欠陥や弱点が見つかった際に、修正や補正をしてくれるプログラムのことを指しています。「修正パッチ」などと呼ばれる場合もあります。

新しい欠陥や弱点を修正・補正せずに使い続けるのは、大変危険です。インターネットに繋いでないから大丈夫、ウイルス対策ソフトは最新版を常に更新しているから大丈夫、とはいきません。インターネットに繋いでなくても、USBメモリやCDなどからウイルス感染するケースもあります。また、ウイルス対策ソフトが最新であっても、XPの構造上の弱点を突くウイルスから攻撃されると、機能停止させられてしまう場合もあるからです。

②不具合対応の問題

皆さんの会社でも会計ソフトや商品管理ソフトなど、様々なアプリケーションソフトを利用されていることでしょう。これらもXPが入ったパソコンで

使っている場合、ほとんどが2014年4月9日をもってサポートが打ち切られる予定です。

サポートが打ち切られたからと言って、パソコンやアプリケーションソフトが突然動かなくなる…というわけではありませんが、何らかの障害や問題が起きた場合のサポートが受けられなくなります。

基幹業務を支えるはずのパソコンやアプリケーションに障害が起きても対応されない、対応できないとなると、業務を推進する上での大問題となることは御理解頂けるかと思います。

③結論

2つの問題からもXPが使えなくなることは理解頂けたかと思います。XPのサポート期間はあと1年足らずです。新しいパソコンやOSへの更新はもちろんですが、現在利用しているアプリケーションソフトがそのまま使えるのか、それとも更新しなければならぬのか、ウイルス対策ソフトを始めとする情報セキュリティは今ままで良いのか等、気になる点をいま一度確認しておきましょう。

●XP以外のWindowsのサポート期限は？

XPをはじめ、WindowsやOfficeといったMicrosoft社の各ソフトウェアには、サポート期間を意味する「製品サポートライフサイクル」が定められています。

Microsoft社は、製品サポートライフサイクルの基本方針として、

- ・製品発売後、最低5年間のメインストリームサポート
- ・最低5年間の延長サポート（メインストリームと合わせ、最低10年間以上）を提供するとしています。（図1を参照ください）

この「メインストリームサポート」とは、サービスパック（SP1やSP2などと呼ばれています）など

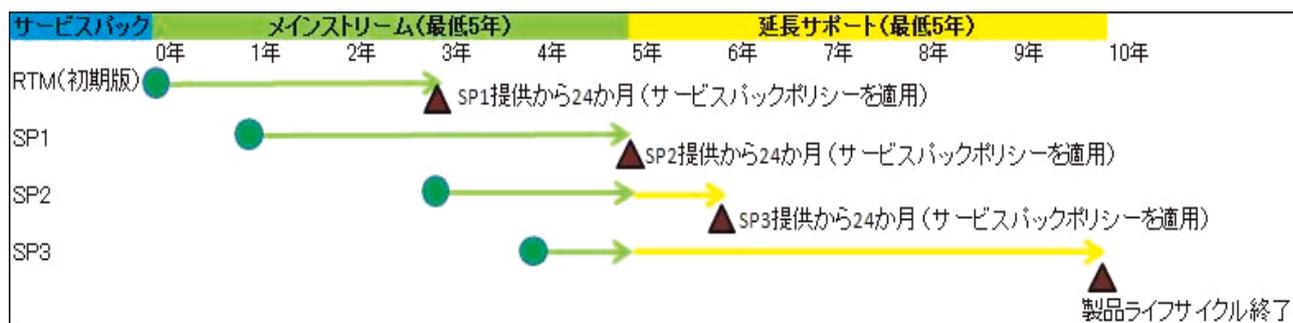


図1 Microsoft社の製品サポートライフサイクル例

の機能拡張や更新プログラムを含むサポートを提供する期間のことをいいます。

一方、「延長サポート」とは更新プログラムの提供のみを行う期間です。

XPは2009年4月14日にメインストリームサポートが既に終了済みです。現在は、延長サポートの期間に入っています。

では、XP以外のサポート期限はどうなっているのか？

- ① Windows Vistaは、延長サポートの期間に入っており、サポート終了は2017年4月11日の予定です。
- ② Windows 7は、まだメインストリームサポートの期間(2015年1月13日まで)です。延長サポートの終了は2020年1月14日となります。
- ③ Windows 8は、メインストリームサポート期間内(2018年1月9日まで)です。延長サポートの終了は2023年1月10日となります。

● XP搭載パソコンに最新のWindows 8は導入できる？

XPが入っているパソコンはもう使えないのか。一概にはそう言えません。いくつかの方法が考えられます。

① XPからVistaにアップグレードする

Vistaが登場した当初、一部のパソコンにはXPへのダウングレードできるディスクが付属していました。このディスクを利用し、あえてXPを利用した場合、そのパソコンのWindowsをVistaに戻せばパソコンの寿命が3年間延びます。

② XPからWindows 8への乗り換え

XPからWindows 8へ入れ換えて使い続けることも可能です。ただし、古いパソコンでは条件を満たさず、使えない場合もあります。

マイクロソフトが用意しているアップグレードアシスタントを利用して、Windows 8が使えるか調

べてみましょう。このアップグレードアシスタントを実行すると、パソコンのハードウェアからUSB接続している周辺機器、インストールしているソフトウェアがWindows 8で使えるか調べてくれます。

▼ Windows 8へのアップグレード

<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-8/upgrade-to-windows-8>

●不要となったXPパソコンの処分について

パソコンは「パソコンリサイクル法」により、販売したメーカーに対して回収が義務づけられています。このため、ユーザーが勝手に処分することはできません。処分するときは、購入したメーカーが設置している窓口に連絡してパソコンの回収を依頼します。2003年10月以降に発売されたパソコン(パソコンリサイクルマークがついたもの)なら無償で回収してくれます。

なお回収前には、データ消去ソフトなどを利用して、ハードディスクドライブ内のデータを読み取り不可にすることも必要です。費用はかかりますが、データ消去サービスを提供する業者もあります。



うえの まち だい さく
上ノ町 台 作

資格：ITコーディネータ
所属：NPO法人ITかごしま支援隊 監事
鹿児島市名山町4番3号
(株)鹿児島頭脳センター内
TEL：099-216-2260
URL：http://www.itshien.org
E-mail：itksall@itshien.org

わが社の輝く女性！

今号は、大規模アレー方式（単一面発光方式）の大型LED照明の開発・製造・販売をしている交和電気産業（株）の経営推進管理室 取締役室長の竹中 順子さんです。



竹中 順子 経営推進管理室
取締役室長

星座 うお座
九州女子短期大学卒
平成5年入社

交和電気産業株式会社

所在地 出水市高尾野町唐笠木1817-1
設立 昭和55年12月
従業員 55名
TEL 0996-82-5110
FAX 0996-82-5188
URL <http://www.emc-kowa.jp/>

◇会社での担当部署は

役職は、経営推進管理室取締役室長、とても長い肩書がついていますが、会社内・取引先の方たちからは、今だに前役職の工場長と呼ばれております。

業務内容は、新規顧客対応・広報・経理・資材・製造等々、小さい会社ですので開発の仕事以外は何でもやっています。

◇入社のきっかけ

学校卒業後、実家の割烹料理屋を手伝っておりました。当時はNEC鹿児島の本社からの出向者の常連客が多く、当時のNEC鹿児島の社長から鹿児島工場設立に当たり「口の達者なのがいるから使ってみないか」と弊社の社長に紹介して頂き、現在に至っています。

◇仕事上での印象深い体験談など

鹿児島工場設立当初から、受託生産事業を進めておりましたが、5年前のリーマンショックの影響で、取引会社がごとごとく撤退してしまいました。この頃に、NEOMAX鹿児島様から検査工程の請負業務のお話を頂き、約20名位お世話になりました。同時に新規にLED照明事業を開始し、従業員をリストラすることなく現在に至っております。

一番感慨深かったのは、やはりメーカーとして自社製品ができたことと、その技術が評価され、産業支援センターの「かごしま産業技術賞」大賞という



開発打合せ
(省エネ・長寿命化が可能な大型LED照明)

素晴らしい賞を頂いたことです。

◇室長として心がけていることは

「会社に適正な利益をもたらす」ということをモットーにしています。私は商家で生まれ育ちましたが、父親の仕事が、サービスする事が多くて利益はあまり残らなかった、という印象が強いせいですかねー。損をしないような仕事をする事を最優先で考えています。

◇ものづくりについて

弊社は、大手照明メーカーと比べて資金力・知名度もありませんが、光源モジュールから完成品までを社内で一貫生産ラインで生産しているため、新製品の開発スピードはどこよりも早く、また優れたエンジニアを揃えているので、技術力はどこにも負けていないと自負しています。

◇後輩社員へ期待する事は

私は、鹿児島工場の社員第1号なので、後から入社した人を、年齢・経験に関係なくあえて後輩とするなら（非常に恐れ多いのですが）、4年前から、大手企業にいたエンジニア達が8名在籍しています。私としては、よくぞこんな小さい会社に来てくれたと感謝しています。毎日夜遅くまで仕事をして次から次へと新しい製品の開発に取り組んでいますので、1日でも早く世界的に有名になって受注に繋げて、日頃の努力が報われる日が来ることを期待しています。

◇趣味や尊敬する人物は

趣味はパン作り・読書です。月に一度パン教室に通っていますが、仕事が少し落ち着いてきたら、料理教室やケーキ教室にも通いたいと思っています。

尊敬する人は藤井社長ですね。これまでに様々な危機が何度も訪れましたが、そのたびに辛抱強く・諦めることなく対処してきた粘り強さと、一度に何件もの開発案件を強引に進めて行くところは、まるで加藤清正のようです。

がんばる進出企業

ネクサスプレジジョン株式会社

■会社概要

ネクサスプレジジョン株式会社は、金属加工品の製造を目的に、昭和62年6月、サンテック株式会社として熊本県菊陽町で創業し、その後、平成4年5月に現在の社名へと変更いたしました。

現在、本社は、熊本空港より車で20分ほどの自然豊かな熊本県阿蘇郡西原村に置いています。

当社は、平成24年11月、新たな生産ライン導入のため、薩摩川内市に鹿児島工場を新設したところであり、鹿児島への進出間もない会社です。

現在、鹿児島工場では19名の従業員とともに精密金属の加工を行っています。

■当社の優れた技術

当社は、装置、治工具の設計・開発・製作・販売及び各種金属製品の製作・販売を行っています。当社製品は、豊富な経験に基づいた技能者が自信を持って送り出しており、技能と技術の高さは、研削精度 ± 0.001 / 面精度 $0.4\mu\text{m}$ という切削加工の高精度・高速加工でありながら、複合化なども併せて実現しています。特に、多結晶ダイヤモンドを用いた耐摩耗性に優れた製品加工技術については、高精度の技術と徹底した生産管理により、業界から高い評価をいただいています。

■世界基準の生産体制

当社は、お客様の多様なニーズに対応していくために、以前から独自の生産マニュアルの作成に取り組んでまいりました。また、お客様から営業・現場・検査・納品までの流れも、コンピューターによる一括管理を行うことで時間的なロスを削減し、お客様へのスピーディーな対応ができるよう努力しております。

さらに、資源の有効活用による廃棄物の削減、省エネルギーの推進など、環境に対する取り組みにも力を入れており、これらの取り組みは国際基準であるISO9001・ISO14001を取得し、国際的なレベルまで高めているところです。



鹿児島工場外観

■鹿児島進出の理由

当社代表取締役が薩摩川内市出身であり、出張先で東京モノレールの中吊り広告に掲示されていた同市の企業誘致広告を目にしたのをきっかけに、故郷への熱い想いが沸き立ち、進出の検討を始めました。

その後、薩摩川内市や県からの熱心な企業誘致や立地に関する様々な相談にも乗っていただくなど、行政の支援体制が充実していたことが決め手となり、平成24年、鹿児島に新たな生産拠点を開設しました。

■今後の展望

当社は、高品質で環境負荷の少ない、実装装置、精密金型部品及び超精密加工品の製造を行い、リーディングカンパニーとして成長・発展することで、産業の発展と環境の保全に寄与することを目標としております。

今後は、当社の売りである技術力をさらに発展させ、世界を目指した事業活動を展開するとともに、地元経済の活性化やさらなる雇用を創出できるよう努力してまいります。



試作加工（高精度・短納期にて製作）

ネクサスプレジジョン株式会社

代表者：代表取締役 外 蘭 正 俊

本 社：熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子358-5

鹿児島工場：薩摩川内市永利町1080

設 立：昭和62年6月

資 本 金：1,785万円

従業員数：60名

事業内容：装置、治工具の設計・製作・販売
各種金属製品の製作・販売

TEL：0996-25-3311 FAX：0996-25-3002

URL：<http://www.nexusprecision.co.jp/>

Information

低廉な賃料でお貸しします！

インキュベータールーム入居者の募集

上野原ビジネスプラザは、新しいビジネスを起こそうとする方や、新しい分野への展開を目指す中小企業及び県外誘致企業の皆様に、その活動拠点としてインキュベータールームを提供しております。



- ★創業される方、創業間もない方は、入居料が無料になる場合があります。(創業5年未満の場合は、原則として無料となります。)
- ★各部屋にインターネット回線を整備し、インターネット接続を無料で提供しております。
- ★企業経営に役立つ情報提供や、種々の相談・支援を行います。

(単位：㎡, 円)

番号	面積	月額料金	番号	面積	月額料金	番号	面積	月額料金	番号	面積	月額料金
101	88.50	119,962	201	99.30	125,632	207	58.50	92,137	213	55.10	86,782
102	101.37	126,719	202	96.20	124,005	208	31.50	49,612	214	54.00	85,050
103	53.35	84,026	203	110.50	131,512	209	38.50	60,637	215	72.10	107,205
研究室	146.85	105,049	204	111.15	131,853	210	38.50	60,637	216	38.50	60,637
-	-	-	205	83.85	117,521	211	38.50	60,637	217	38.50	60,637
-	-	-	206	58.50	92,137	212	38.50	60,637	218	38.50	60,637



24時間365日利用可能な施設です。



高速ネット回線 (Bフレッツ 100Mbps) が整備されています。



打合せ室 (2室) が利用 (無料) できます。

(公財) かがしま産業支援センター

上野原ビジネスプラザ

〒 899-4317 霧島市国分上野原テクノパーク4-30

TEL (0995) 45-3511 FAX (0995) 48-5270

Information

◆◆◆ 鹿児島大学水産学部でラボツアーを開催します！ ◆◆◆

かごしま産業支援センターでは、鹿児島大学や鹿児島高専などの研究室を企業の皆様に訪問していただくラボツアーを開催しています。

本年度は、9月13日（金）14：00から鹿児島大学水産学部において、5名の先生方による研究シーズ発表及び研究室訪問を行います。企業の皆さんが大学の先生方により近づいていただき、今後の技術相談や研究開発などに発展させるのが目的です。今回は下記の研究シーズになります。是非ご参加ください。

開催日時：平成25年9月13日（金）14：00～17：30

場 所：鹿児島大学水産学部

鹿児島市下荒田4丁目50-20

○内 容

1 研究シーズ発表会（4号館2階 第23号講義室）14：00～16：30

テ ー マ	発 表 者
(1)「水生動物の感覚と行動特性に基づいた行動制御技術の開発」	安楽和彦准教授
(2)「加工残さいや低利用水産物を利用した加工食品の開発」	進藤穰准教授
(3)「健康に有用な水圏生物由来の生理活性物質の発見」	小松正治准教授
(4)「水圏資源からの生理活性物質の探索と水産未利用資源の有効利用」	杉山靖正准教授
(5)「糖鎖および関連酵素を標的にした健康機能性に関する研究」	塩崎一弘助教

2 研究室訪問 16：30～17：30

発表された先生方の研究室を訪問し、フリーディスカッションを行います。

3 交流会（希望者） 17：40～19：00（水産学部食堂）

※かごしま産業支援センターのホームページに開催案内及び参加申込書を掲載しておりますのでご利用ください。

◆お問い合わせ先

（公財）かごしま産業支援センター 産学官連携課

TEL：099-214-4770（担当：前野、有馬）

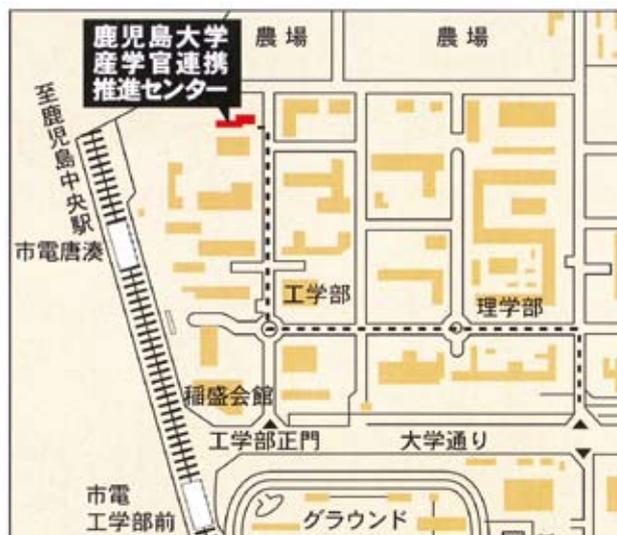
前回ラボツアーの様子



公益財団法人 かがしま産業支援センター



公益財団法人 かがしま産業支援センター
 〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 (県産業会館2F)
 TEL : 099-219-1270 FAX : 099-219-1279
 E-mail : kisc@kric.or.jp



産学官連携課
 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番40号
 (鹿児島大学産学官連携推進センター棟2F)
 TEL : 099-214-4770 FAX : 099-214-4771



上野原ビジネスプラザ
 〒899-4317 霧島市国分上野原テクノパーク
 TEL : 0995-45-3511 FAX : 0995-48-5270

○国道10号線テクノパーク入口から2.8Km
 ○JR国分駅から11.2Km

編集後記

暑い夏が続いています。県内景況は全体として回復の傾向が見られるとの報告がありますが、安倍政権の今後の経済財政対策が本県中小企業の生産、経済活動をさらに熱くし、活性化につながることを願うところです。本誌ご愛読の皆様方、この夏を元気に乗り切ってください。

編集担当：坂口、野村（総務情報課）

情報 KISC SUMMER 2013

発行者： 公益財団法人 かがしま産業支援センター
 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL : 099-219-1270 (代表)
 FAX : 099-219-1279
 E-mail : kisc@kric.or.jp
 URL : http://www.kric.or.jp